

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第2区分
【発行日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【公表番号】特表2008-518274(P2008-518274A)
【公表日】平成20年5月29日(2008.5.29)
【年通号数】公開・登録公報2008-021
【出願番号】特願2007-538965(P2007-538965)
【国際特許分類】

G 0 3 B 42/02 (2006.01)

G 0 3 B 42/04 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 42/02 Z

G 0 3 B 42/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月12日(2008.9.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

口腔内X線フィルムパッケージであって、
2つの面を有するフィルム片と、

前記フィルム片の片面に配置され、前記フィルムパッケージが放射線に曝されたときに放射線遮蔽効果を提供するための放射線遮蔽要素とを備え、前記放射線遮蔽要素は、熱可塑性物質と非鉛金属粉末および/または非鉛金属化合物を含む材料からなることを特徴とする口腔内X線フィルムパッケージ。

【請求項2】

請求項1に記載の口腔内X線フィルムパッケージであって、

前記フィルム片と前記放射線遮蔽要素は、光密エンベロープの中に配置されることを特徴とする口腔内X線フィルムパッケージ。

【請求項3】

請求項1に記載の口腔内X線フィルムパッケージであって、

さらに、2つの相反する面を有するエンベロープを備え、前記放射線遮蔽要素は、前記エンベロープの片面であり、前記フィルム片は前記エンベロープの中に設置されることを特徴とする口腔内X線フィルムパッケージ。